



平成 29 年 2 月 2 日

各 位

会社名 株式会社デ・ウェスタン・セラピ°テクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4 5 7 6)  
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
TEL 0 5 2 - 2 1 8 - 8 7 8 5

### 緑内障治療剤「H-1129」の海外における オプションライセンス契約締結のお知らせ

当社が創製した「H-1129」につき、国内の医薬品事業会社（以下、「当事業会社」）に対して、緑内障等の領域の日本を除く全世界を対象とする独占的開発権・販売権を付与するオプションライセンス契約（以下、「本オプション契約」）を締結することを本日決議しましたので、お知らせいたします。

本オプション契約の締結により、当事業会社は、「H-1129」に関する緑内障等を適応症とし、日本を除く全世界において独占的に「H-1129」を利用する前提で、その価値を一定期間評価検討する権利を得ることになります。

当社は、当事業会社がオプション権を行使（または放棄）するまでの期間、一定額のオプション料を受領いたします。

更に、本オプション権が行使された際には、契約一時金並びに開発及び販売の進捗に応じたマイルストーンフィーを受領し、その総額は最大 73 億円となる可能性があります。また、製品の販売後は、販売高に応じたロイヤリティを受領いたします。

なお、当事業会社の会社名及び本契約に係る財務条件につきましては守秘義務上、非開示となります。

「H-1129」の緑内障領域に関する日本の権利は、平成 25 年 3 月にわかもと製薬株式会社（以下、「わかもと製薬」）にライセンスアウトしており、現在、緑内障・高眼圧症を適応症として国内第Ⅰ相臨床試験が行われております。また、平成 29 年度に国内第Ⅱ相臨床試験の開始、平成 30 年度に国内第Ⅲ相臨床試験の開始を計画しております（わかもと製薬の開発コード：「WP-1303」）。

なお、本件による平成 29 年 12 月期業績予想への影響は、平成 29 年 2 月 14 日公表予定の「平成 28 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の平成 29 年 12 月期業績予想に織り込む予定であります。

当社は、「H-1129」に関して、緑内障領域以外の権利を有しておりますので、今後は他疾患の適応に向けた研究開発に取り組み、パイプラインの拡充及びパイプラインの価値向上に努めてまいります。

#### H-1129 (WP-1303) について

プロテインキナーゼ阻害剤<sup>(注1)</sup>を中心とする当社化合物ライブラリー<sup>(注2)</sup>のリード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を適応症とする開発品です。各種プロテインキナーゼ<sup>(注3)</sup>を阻害する他に、熱ショックタンパク質<sup>(注4)</sup>の Hsp90 に結合することが確認されており、その結果、線維柱帯-シュレム管を介して主流出路からの房水流出を促進し眼圧を下降させることが示唆されております。

日本における権利は、平成 25 年 3 月にわかもと製薬にライセンスアウトいたしました。その後、非臨床試験が進められ、平成 28 年 3 月より国内第 I 相臨床試験が行われております。

以 上

#### 用語解説

##### (注1) 阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

##### (注2) 化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。

##### (注3) プロテインキナーゼ

ATP(アデノシン三リン酸と言われ、体内で作られる高エネルギー化合物)等、生体においてエネルギーの元となる低分子物質等のリン酸基を、タンパク質分子に転移する(リン酸化)酵素です。一般にリン酸化を触媒する酵素をキナーゼと呼び、特にタンパク質をリン酸化するキナーゼをプロテインキナーゼと言います。

##### (注4) 熱ショックタンパク質

細胞が熱等のストレス条件下にさらされた際に発現が上昇することで細胞を保護するタンパク質の一群であり、「Hsp90」などのように、それぞれの分子がその分子量に基づいて名づけられています。